

行歯会だより (第 13 号)

2006 年 6 月 (毎月発行)

(行歯会＝全国行政歯科技術職連絡会)

●日本歯科医師会・8020 財団・行歯会で新たな日本の歯科保健を●

さる 6 月 3 日(土)、当会執行部と日歯・大久保満男会長、池主憲夫常務理事、石塚地域保健課長及び8020財団・新井専務理事という豪華メンバーで、意見交換会を行った。当会からの出席者は本行歯会だより13号3ページ理事会報告のメンバーに矢澤理事を加えた面々。タイトルを本会の目標である「日本国民に世界最高水準の歯科保健(口腔環境)を提供するために」として、熱い思いをぶつけ合った。

まず、日歯・大久保会長が挨拶として「日歯では“湘南ワークショップ”を開催し、その報告書を手に厚労省に行ったが、2年前のあの事件により失った国との信頼関係はかなり回復しつつある。」と説明。また、「日歯は直接現場を持たない組織であるが、国と交渉するに当って現場感覚は外せない。この意味から、現場に直結する行歯会と日歯との連携は非常に重要と考える。」さらに「組織と組織とのお付き合いなので、連携を深めるためには、行歯会の組織率を上げていただく必要がある」との注文をチクリ。

8020財団・新井専務からは「財団は行歯会の立上げの時から応援してきており、今後も熱いエールを送りつづけたい。... 反対に財団が取り組む8020運動推進のための各種事業について、行歯会からの支援を大いに期待する。」とのラブコールをいただいた。

以下、安藤事務局長の司会で意見交換会を行った。

<要旨>

○各地での歯科保健の盛上げ策

- ・今、地域保健への歯科の食込みは「メタボ」や「かむこと」だが、これらで所謂勝負形にはたして持ちこめるものか
 - ・手は色々考えられる。まずは地域の流れに乗り遅れないこと
 - ・乗り遅れないためには、地域での歯科医師の一層の説得力ある発言が求められる。歯科医師の社会的視野を広げる対策が重要だろう
 - ・学会との関係もポイント。日歯からの金銭的支援も相当あり、国民のための研究になるよう認識を新たにさせていただきべきだろう
 - 行歯会の機能は斬新
 - ・近歯連ニュースなど情報が早い。会員間の通信も圧倒的スピードだ
 - ・この機能は宝であり、未来に向かって上手に伸ばしていくべきもの
 - 日歯・8020財団・行歯会で協働の第一歩を
 - ・全国には歯科医師と行政がうまくやっているところもでてきている
 - ・新たな歯科保健医療のモデルにつなげよう
 - ーその他雑談多数ー
- これからも機会をみつけて話合う大切さを知った一日でありました。



日歯・大久保会長、池主常務、石塚課長 と 8020 財団・新井専務を囲んで

2006.6.3(土) 八重洲倶楽部にて

- みんな、真剣に話し合っているが、どういわけか「地域限定:八丁味噌ブリッツ」や「財布」が散在している -

● 『地域紹介 わたしの街自慢!』

「大和のふるさと 海色の歴史回廊・くれ そして」

広島県呉市保健所健康増進課

保科 尚美

行歯会の皆様、こんにちは。

広島県呉市保健所健康増進課の保科です。行歯会からの情報や質問に対しての迅速な回答に感謝しつつ、自分自身を元気づけ日々の業務に取り組んでいます。

地域紹介の記事の依頼を受け、「えっ、私が?」と思いつつ、へたな文章での紹介になるかもしれませんが、お付き合いください。

「呉」は、平成17年3月に瀬戸内海という世界に誇れる財産を有する近隣8町との合併が整い、新生「呉市」としてスタートしました。人口約25万5千人、面積350km²の新市は、瀬戸内海に臨む都市の中で最も長い海岸線(298.3km)を有し、広島県内の瀬戸内海国立公園の陸地面積の約40%を占める風光明媚な地域となりました。

実際仕事で市内の移動は大変で、フェリーに乗ったり、車で海岸線を1時間以上走ったりと、時間がかかるようになりましたが、自然あふれる美しい景色を外勤中に眺めていると、つい仕事であることを忘れてしまうくらいです。

瀬戸内海の島々を少し紹介します。



ミカンの産地で知られ、潮待ち・風待ちの港として栄えたその面影を今でも残す御手洗地区を有する大崎下島、日本の渚百選にも選ばれた県民の浜を中心としたマリンリゾートや古代の藻塩で有名な上蒲刈島、江戸時代には朝鮮通信使が立ち寄り、当時の資料を展示した文化施設などが人気の下蒲刈島(写真)、万葉集にも歌われた倉橋島の桂浜や平清盛が一日で切り開いたという伝説が残る音戸の瀬戸など、海をキーワードとして瀬戸内海の豊かな自然や歴史、文化に彩られた多様な地域資源が光り輝いています。

昨年4月にオープンした「大和ミュージアム(呉市海事歴史科学館)」は、明治以降の日本の近現代史の縮図とも言える呉の歴史と、その近代化の礎となった造船・製鋼をはじめとした各種の科学技術を紹介する博物館で、戦後60周年という節目と戦艦「大和」を題材にした映画の影響もあり、開館1年で当初の目標を大きく上回る170万人以上の来館者がありました。

圧巻なのは、1階吹き抜け部分に設置された全長26.3mの10分の1

戦艦「大和」。その迫力ある姿からは、呉の造船技術の素晴らしさを感じていただけたと思います。

大和ミュージアムホームページ <http://yamato.kure-city.jp>

また、大和ミュージアムの正面に、海上自衛隊呉史料館(仮称)も建設中で(平成19年4月完成予定)、本物の潜水艦を陸揚げし、外観見学のみならず、その内部を見学できる(日本初)ようになるそうです。



そのほかにも見所・楽しみ所がいっぱいあります。

明治時代の香りを放つ「入船山記念館」。赤レンガの「呉市立美術館」

国内で唯一、潜水艦を間近にみられる「アレイからすこじま」。

その周りは、旧海軍工廠のレンガ建物が並ぶ、レトロな雰囲気です。

市の商店街は「れんがどおり」とよばれています。昔懐かしい洋食や

お菓子屋さんも多くあります。そして、今でも屋台が営業しています。

ラーメン・おでんを食べられる昔ながらの屋台に加え、外観もメニュー

も斬新な屋台もあります。さらに、大人から子どもまで楽しめ、夕日・夜景

がととても美しい「呉ポートピアパーク」や、自然とふれあい、農業体験

もできる「クリーンヒル郷原」なども見逃せません。



最近では、いろいろな地方からの観光バスが、市内中を走っています。今まで、市内で観光バスをほとんど見かけなかったのも、とても不思議

議な感じがしています。「海色の歴史回廊 くれ」というキャッチフレーズのもと、観光振興にも力をいれているくれの町をぜひ、行歯会の皆様にも楽しんでいただけたらと思います。

最後に、本市の歯科保健への取り組みを一つ紹介させていただきます。健康くれ21事業計画を平成15年3月に策定しました。

この計画は、運動・食・心と体の健康づくりと大きく3つに分かれています。日頃、歯科関係単独での事業では、市民への認識を高めることは難しいと感じていたため、食に関する健康づくりの中に「歯で健康づくり事業」を入れ込んだ形で、「自分の歯でおいしく食べよう」と小目標をつくり、市民推進団体とともに一緒に取り組んでいます。

平成16年度からは、幼稚園や保育所で、「よくかんで食べよう」「噛む習慣づくり教室」という出前講座を実施しています。この教室は、保育現場から「あまりかまない子が多い」「軟らかい食べ物しか食べられない」「たぐさんのむし歯を治療しないままの子が多い」などの声を受け、子ども向け、保護者向け、保育士・幼稚園教諭向けと、対象別に教室を開催し、市民の意識を高めると共に、各施設にあわせて、かむかむアップや第一大臼歯のむし歯予防、フッ化物洗口等わかりやすく伝えることを心がけています。

なかなか担当者のみでは、事業展開が難しいこともありますが、従来ある事業に歯科保健を含めたり、現場からの声をうまく吸いあげて、市民が、歯科疾患で歯を失うことなく、自分の歯でおいしく食べることができるように、これからも情報発信していきたいと思っています。

呉市に歯科衛生士が初めて配置されたのが平成10年。保健所政令市としては、ワーストと言われるくらい遅い配置でした。

最近やっと市役所内でも顔の見える？関係ができてつあります。

そして、事務職の方、保健師さん、歯科医師会の先生方いろいろ巻き込んでしまうことに面白みを感じています。

全国レベルからは、ずいぶん遅れている呉市ですが、少しずつでも前進したいと思っています。

どうぞこれからも、様々な形でご指導いただきますようお願いいたします。行歯会の皆様、どうぞ、一度「くれ」にいらしてください。

いとこじゃけん。(方言です)



「音戸の瀬戸公園からの多島美」

第一回 理事会報告

日時: 2006年6月3日(土) 13:30~14:40

会場: 八重洲倶楽部(第2・3会議室) 東京都中央区八重洲2-1
八重洲地下街中1号

出席者: 18名: 石上会長、井下・北原・楠田副会長、秋野・永瀬・高橋・青山・高澤・廣瀬・山田・長・中村・金森・得津・藤田理事、河本(梶浦理事代理)、安藤事務局長

内容

1. 組織率の向上について

当会の入会率は現在4割弱である。当会の特徴であるインターネットによる双方向通信をメリットにできる環境(地方の一人職種など)の未入会者はまだまだ多いと思われるので、今後、組織率の向上を当会活動の第一課題として取り組む。

<対策>

- ・今月末までに各ブロックで対策と今後の見通し(〇年×月までに△%)を検討して報告する
- ・行歯会だよりに入会案内を掲載し、地域で未入会者に回覧してもらう

メーリングリスト登録については、下記の点を確認。

- (1) 私用アドレスの登録は可(携帯電話アドレスを含めて)
- (2) 個人で登録できるアドレスは1つだけ

2. 行歯会だよりについて

以下の方針で了解を得た。(がんばって下さい!)

担当者: H18.6~11 (主)中村、(副)高澤
H18.12~H19.5 (主)高澤、(副)永瀬
H19.6~11 (主)永瀬、(副)得津
H19.12~H20.5 (主)得津、(副)矢澤
H20.6~11 (主)矢澤、(副)高橋

質問コーナー: 岩瀬理事から井下副会長に交代

3. 情報収集対策について

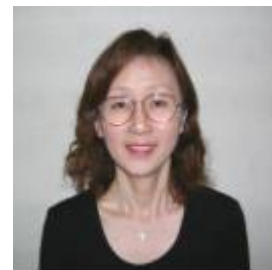
今まで一部の理事で一手に引き受けていた感のある情報収集機能を分散強化する必要がある。(個人の趣味では片付けられません。)各ブロックなどで適切な人材探しを行うこととした。(興味のある方は事務局まで御一報下さい。大歓迎します!!)

<終>

● 理事のひとり言（その12）

岡山市保健所健康づくり課東保健センター

歯科衛生士 藤田 幸子



行歯会の皆様こんにちは。中国・四国ブロックの藤田です。

昨年の3月、本会理事のお誘いを受け、お役に立つことがあればという思いでブロック理事を引き受けさせていただきました。この行歯会が発足して1年がたちました。

先月の5月17日、初めての理事会があり全国9ブロックから18名の理事が集まりました。いろんな方々のご意見や考えを聞かせていただき、貴重な時間を持つことができました。創刊号で本会石上会長が、「歯科専門家として地域住民に最高の歯科保健水準のサービスを提供できる、何でもできる行政マンをめざしてほしい」という私たちに熱い思いを語ってくれました。専門職として、行政マンとして、自己研鑽しつつ、地域住民のために努力していきたいと思いました。少数の専門職は、専門職同士の情報交換や情報を入手することが難しいですが、行歯会は、国・県さまさまな情報をいち早くキャッチすることができ、メーリングリスト(以下 ML)によって同じ専門職から情報の提供や交換、相談もできるという私たち少数専門職にとって心強い会です。このような ML を活用して、全国的なつながりを持つことは、時代の流れとも言うべきでしょうか。MLを通じて、全国にいる歯科専門職としっかりコミュニケーションをとり、地域での業務に生かすことができるようになることが、全国規模で歯科保健を推進していくことにつながると思います。

さて、岡山市(保健所)には、歯科医師1名(課長補佐)と私を含め3人の歯科衛生士がいます。人口約66万9千人を擁する中核市で、6つの保健センターを持ち、歯科衛生士は保健センターに配属され、2つの保健センターの業務を担当しています。国・各都道府県・市町村で推進している健康○○21を岡山市でも推進しています。H15年1月に住民参加のもとに「健康市民おかや21」(以下 21 に略)を策定しました。他職種や地域の住民・組織等と一緒に推進しているところです。岡山市では、市民が健康づくりを効果的に促進できるよう、生活習慣を改善するための対象分野として、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・こころの健康づくり」、「たばこ」、「アルコール」、そして「歯の健康」の6分野を設定しています。21の対象分野に歯の健康が入ったことは、歯科専門職にとってうれしいことです。行政が決めるのではなく、住民と行政が一緒になって考え、策定したということで、地域住民と一緒に推進していくことができるようになりました。

今までも、保健センターの他職種と一緒に地域に出かけていき、歯の健康について啓発・情報提供してきましたが、住民と一緒に取り組むという機会は、あまりありませんでした。

私が勤務している東保健センターでは、今年度歯の健康を推進しています。住民が21推進委員・役員になり、役員会・勉強会を開催し、どのようにして地域に推進し広げていけるかを考えています。保健センターの職員も参加し地域の情報提供や伝達をしながら、住民と一緒に

に推進しています。住民自らが考え決定し、保健センター管轄地域全体で歯の健康に取り組むことができるということは、なんて幸せなことかと思います。

各保健センターによって、取り組み方は違いますが、それぞれの地域で活躍されています。今まで依頼されての健康教育を行ってきた形(受け身)から、行政・地域住民が一緒になって企画し、歯科保健の取り組みができるようになったことは、21を住民参加のもとで策定した結果だと思っています。現状値・目標値を設定しているので地区特性等を情報発信・提供してもわかりやすく、問題・課題を共有しやすいことも住民の健康に対するパワーを引き出せたのだと思います。今後の活動・取り組みにワクワクしながら、住民と一緒に歯の健康を推進していこうと思っています。

“わいわいがやがや話しあう”ことが、お互いにエンパワメントでき、住民のためのより身近な行政になるのではないかと思います。

今まで以上に忙しく、バタバタの毎日ですが、保健センターのスタッフとして、歯科衛生士として充実した日々を送っています。そして、一つひとつ、一人ひとりの取り組みが、歯科保健の向上につながるよう、がんばっていきたいと思います。

私たち行歯会会員は、MLでつながっている仲間です。行歯会MLをしっかり活用し、会員の皆様がそれぞれ取り組まれていることを紹介してください。それが、私たち行歯会会員にとってのエッセンスです。MLのよい所は、電話と違い、遠く離れていても、複数の人の意見や考えを聞くことができるということです。また、仕事で行き詰まったり悩んだりした時は、気軽に何でも相談できる行歯会です。

気負わず、遠慮せず、自分の悩んでいることありのままに、MLで伝えてください。必ず、応援と元気をもらえると思います。MLを通じて共に学び、共に励ましあい、それぞれの地域で歯科専門職として、行政マンとして、一人の人間として、「いい年」を重ねていきましょう。

行歯会に入会していない方がいらっしゃったら、是非声かけしていただきたいと思います。

長いながい理事のひとり言になってしまいましたが、今後ともよろしく願いいたします。



健康市民おかや21「歯の健康」マーク

☆☆新シリーズ スタート☆☆

沈黙のアドバイザーとしてつとに有名になってしまった行歯会のシャイな
アドバイザーの面々に、それではと、発言の機会を設けた新企画！
ゆっくり、御意見聞かせていただきやしょ～

アドバイザーは語る(その1)

福岡歯科大学 (社会歯科学)

渡辺 猛



行歯会メーリングリストにおけるアドバイザーという肩書きを頂戴して
から、書き込みをしないまま早1年が過ぎます。メーリングリストは毎朝
かかさず拝読していますので、メーリングリストにおける情報交換がま
すます活発になっている様子が良く分かります。しかもどれも重要で緊
急性の高いものばかりで、メーリングリストを開設された方々の先見性
に脱帽しています。メーリングリストを読ませていただきながら、歯科保
健行政に携わる歯科医師や歯科衛生士の方々は「守備範囲が広く、緊
急性の高い業務に従事して、苦勞が多い」ということを改めて実感して
いるところです。以前の私なら、予防歯科学講座に属してフッ化物に関
する論文を日常的に読んでいたためフッ化物についての最新情報を
皆様に提供できただろうと思います。しかし、4年前(平成14年)に社会
歯科学分野に異動してからの私は、わが国における「医療の需要と供
給」とか「保健・医療・福祉の制度」に関する公開情報を集めて、皆様に
とっては陳腐な情報にやっとの思いで辿り着いては「国会は私に何の
断りも無く勝手に法律を改正してけしからん」とブツブツ言いながら学生
に配付する資料を改訂しているような有様です。このような訳で、アドバ
イザーである私の方がメーリングリストから学生教育用の貴重な情報
を入手して、恩恵を享受しているという状況です。皆様、誠にありがとご
ざいます。

でも、折角の機会ですから、行政と大学の関わり方(官学連携)につい
て日頃、考えていることを披露させて下さい。私は、新潟大学・広島大

学・福岡歯科大学と3つの大学を遍歴したため、新潟県、広島市、佐世
保市と静岡県の歯科保健のお手伝いをさせていただきました。ただし、
本当にお役に立てたのかどうか未だにはっきりしません。調子の良いこ
とを言って、お酒をごちそうになってばかりのような気もしないではあり
ません。2県2市に関わりながら考えたことは、「行政は大学をもっと有
効に活用すべきだ」ということです。大学は、「良い歯科医師を社会に
送り出すことによって社会に利益を還元する」という長期目標を持って
いますが、同時に、「行政に専門的な情報や技術を提供することによっ
て社会に利益を還元する」という短期目標も持ち合わせていると思いま
す。大学教員へのアドバイザーの委嘱にはそのような官学連携が意図
されているのかもしれませんが、大学教員アドバイザーとしてメーリング
リストには書き込みにくいです。短期目標を具現化する手っ取り早い方
策は、行政に勤務する歯科医師・歯科衛生士の方々が大学教員に個
別に相談することではないかと思います。大学教員は、自己点検・自己
評価や認証評価(学校教育法第六十九条の三)のために、以前とは比べ
ようもないくらい多忙ですが、それでも、直接、個人宛に電話が届くと対
応せざるをえないのではないかと思います。そうやって、大学教員を社
会に引っ張り出していただけるなら、全国の大学教員が建前だけで言
ってきた「社会への利益の還元」が本音に代わる日が来るのではない
かと思うのです。簡単に行かないだろうとは思いますが。

●お知らせ

全国歯科保健大会

◆テーマ

『生きる！！自然の恵みを噛みしめながら』

～ 地域の中で家族や仲間とともに・・・ ～

◆日時

平成18年11月11日(土曜)

午後0時30分～午後5時(午前10時30分受付開始)

◆会場

長崎ブリックホール 長崎市茂里町3-10

(TEL:095-842-2002)

プログラム

12:30 開会

◆挨拶

大会実行委員長 長崎県歯科医師会会長 道津 剛 佑
厚生労働大臣 川崎 二郎

日本歯科医師会会長 大久保 満 男
長崎県知事 金 子 原二郎
長崎市長 伊 藤 一 長

◆歯科保健事業功労者表彰

- ・厚生労働大臣表彰
- ・日本歯科医師会会長表彰

◆第55回母と子のよい歯のコンクール表彰

- ・審議経過報告
- ・厚生労働大臣表彰
- ・日本歯科医師会会長表彰

◆次期開催県挨拶 ○○県福祉保健部長(まだ次期開催県は未定です。)

14:10 特別講演

『歯なし家と6人の親』落語家 三遊亭 圓 歌

15:10 シンポジウム

「口と地域包括ケア ～口の健康づくりと支援への期待～」

基調講演

福岡歯科大学理事長・元九州大学学長 田中 健蔵

シンポジスト

近森リハビリテーション病院院長 栗原 正紀

日本歯科医師会会長 大久保 満男

16:50 大会宣言

日本歯科医師会常務理事 池 主 憲 夫

◆大会旗引継ぎ

大会実行委員長 長崎県歯科医師会会長 道 津 剛 佑

次期開催県 県歯科医師会会長

17:00 閉会

※現在、15:10からの内容についての時間調整が考えられており、終了が17:30になる可能性があります。